

財政福祉委員会(9月5日・10日) 山口清明議員

国保料の算定方式変更で負担増の人に対策 一般財源を活用した恒久的な緩和策を

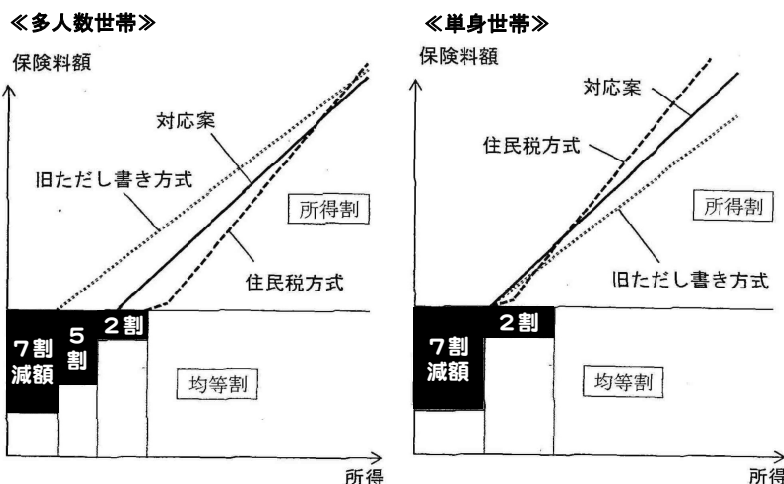
来年度から国保料の所得割の算定方式が、「住民税方式」から「旧ただし書き方式」に変更され、「旧ただし書き方式」への移行により、多人数世帯、障害者や寡婦(夫)のいる世帯の保険料が増加します。

日本共産党は保険料の増加抑制などの対策を講じるよう求めてきましたが、「一定の所得控除を行う」という対応策が示されました。

市当局は「保険料の枠内で対応」という姿勢です。これでは高い保険料という本質は変わりません。一般会計からの繰入での恒久対策が必要です。

【多人数世帯の所得から一定の所得控除を行った場合のイメージ図】

対策により、住民税方式と比べて、保険料の増加幅や減少額が縮小される



守山市民病院 買い手つかず、値段を下げて再公募

9月10日の財政福祉委員会で守山市民病院の民間譲渡の再公募の説明と請願審査などが行われました。

多くの市民と日本共産党の反対をよそに、名古屋市は守山市民病院の廃止・民間移譲を決め、土地と建物あわせて約15億1千万円で売り出しました。しかし、8月21日の期限が来ても買い手がつきませんでした。病院局は事前アンケートでの好意的な反応や現地説明会への参加で何とかなるとみていたよう

です。家局、売却価格を事実上引下げ、対象法人を全国に広げるなどして再公募を行います。市民の財産をたたき売ることになります。

山口議員は、病院局の甘い姿勢を批判し「公的な病院をきちんと運営することは、自治体の大切な責務ということをお願いし、そのうえで今後、病院をどう存続させていくかの議論していきたい」と語りました。

請願の審査結果は下記の通りです。

財政福祉委員会(2012年9月10日)の請願審査の結果

請願名	請願者	結果
緑市民病院のより良い医療を求める請願	緑区住民	保留
敬老パスの現行制度を守り、充実させることを求める請願	全日本年金者組合愛知県本部	
守山市民病院の存続と充実を求める請願	地域医療を考え守山市民病院を守る会	
ファール号の存続と拡充を求める請願	南区住民	
休養温泉ホーム松ヶ島を存続し、充実させることを求める請願	全日本年金者組合愛知県本部	
年金の支給開始年齢の引上げをやめることを求める意見書提出に関する請願	全日本年金者組合愛知県本部	
すべての高齢者に月額33000円の年金を支給すること等を求める意見書提出に関する請願 1. 月額33,000円を 2. 10年で支給資格を	全日本年金者組合愛知県本部	打切
2.5%の年金削減をやめることを求める意見書提出に関する請願	全日本年金者組合愛知県本部	保留

請願の第1次締め切りは9月28日(金)です